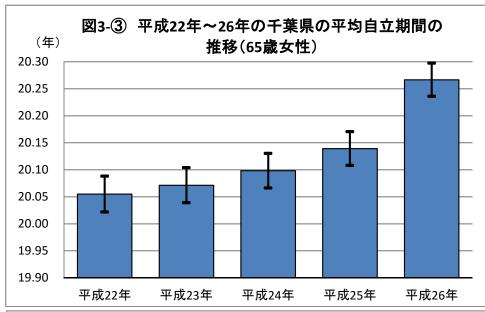
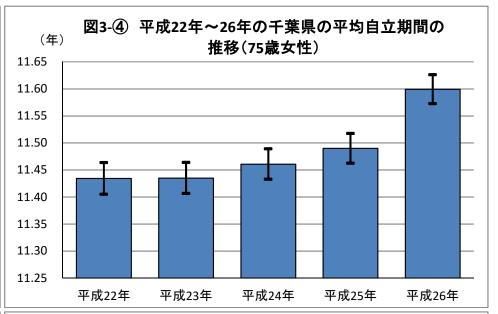
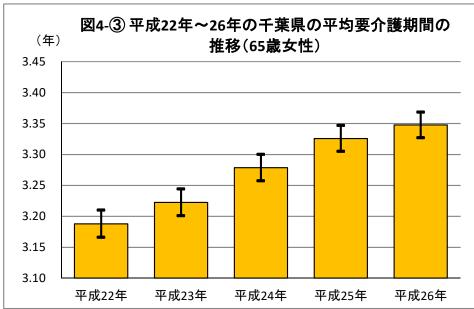
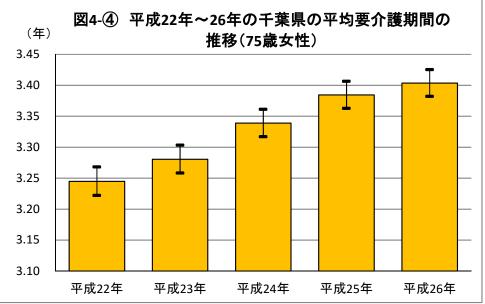


※エラーバーは95%信頼区間を示す。

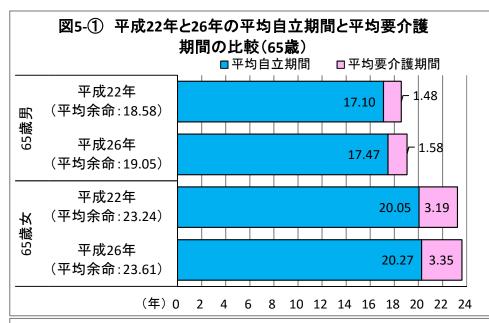








※エラーバーは95%信頼区間を示す。



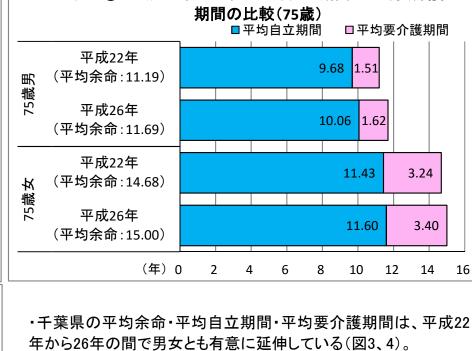
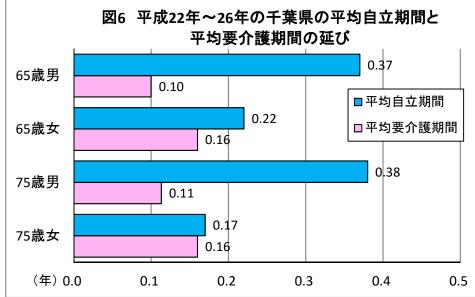


図5-② 平成22年と26年の平均自立期間と平均要介護



- ・千葉県の平均余命・平均自立期間・平均要介護期間は、平成22
- ●65歳と75歳を比較すると、平成22年から26年の間の平均自立期 間の延びは、男性で変わらず、女性で65歳が75歳と比べて0.05年 (18.3日)わずかに上回っていた。一方、平均要介護期間の延びは、 65歳でも75歳でも男女ともに変わらなかった(図5、6)。
- ・男女を比較すると、平成22年から26年の間の平均自立期間の延 びは、男性が女性を上回り、65歳で1.7倍、75歳で2.2倍となってい た。一方、平均要介護期間の延びは、女性が男性を上回り、65歳、 75歳ともに1.6倍となっていた(図5、6)。

※各年の算定に使用したデータについては別紙「平均自立期間の算定方法について」を参照してください。